

第2回鈴鹿市人口減少対策会議

# 産学官民連携による地域社会DXの推進

～高校生・大学生によるまちづくりDX～

名古屋大学 大学院情報学研究科

准教授 浦田 真由

2025.12.23 @ 鈴鹿市役所

# 自己紹介



名前： 浦田真由 Mayu URATA

所属： 名古屋大学 情報学部／大学院情報学研究科  
社会情報学専攻 情報社会設計論講座

学位： 博士（情報科学）

専門： 情報社会設計論， 社会情報学， 観光情報学

所属学会： 社会情報学会， 情報文化学会， 観光情報学会

2017～ 総務省 地域情報化アドバイザー

2019～ デジタル庁（内閣官房） オープンデータ伝道師

2024.4～ 総務省 「地域力創造推進に関する研究会」 委員

2025.2～ 内閣府 「経済・財政一体改革推進委員会 国と地方のシステム 国と地方のシステムWG」 委員

2025.10～ 総務省 統計委員会 専門委員

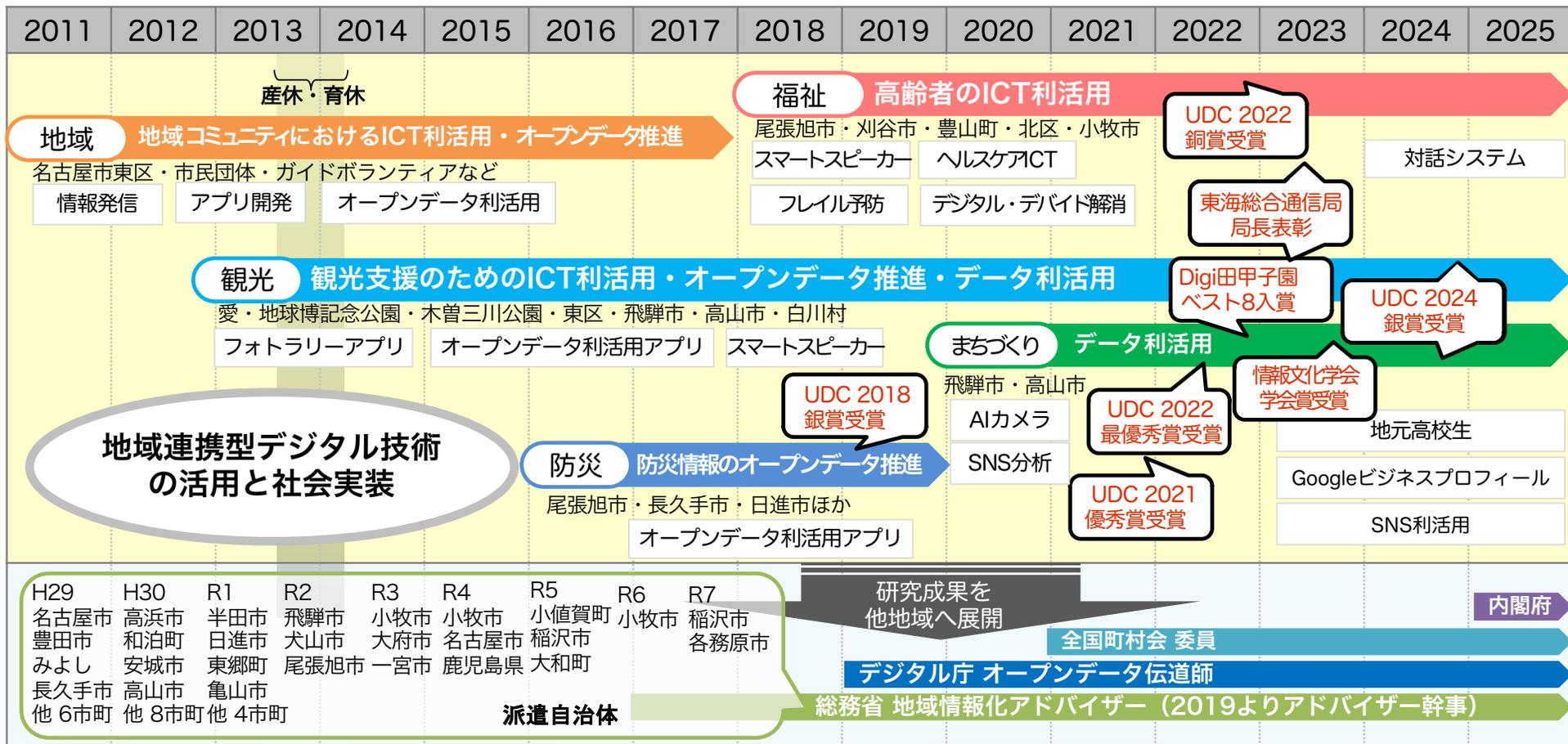
**情報通信技術（ICT）がもたらす新しい社会  
の在り方について調査・研究**

- 人間中心の社会をデザイン  
→利用者視点を大切にする
- 地域やコミュニティが抱える課題から  
必要な技術を選定・活用する  
(技術的な新規性は追いかけていない)
- 生の声を聞く (研究室から外に出て活動する)
- 課題を抱え困っている人たちを助ける仕組みを考える
- 継続できる仕組み・体制を構築する



## デジタル社会の実現に向けて

# まちづくりにおける地域課題解決のためのデジタル実装



| 年月       | 1日 | 2日 | 3日 | 4日 | 5日 | 6日 | 7日 | 8日 | 9日 | 10日 | 11日 | 12日 | 13日 | 14日 | 15日 | 16日 | 17日 | 18日 | 19日 | 20日 | 21日 | 22日 | 23日 | 24日 | 25日 | 26日 | 27日 | 28日 | 29日 | 30日 | 31日 |
|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 2023年10月 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 2023年11月 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 2023年12月 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |

# 産学官民連携による観光DXの推進

# 冬のDigi甲子園 ベスト8 受賞

## 情報学研究科 安田・遠藤・浦田研究室が、 内閣官房主催「冬のDigi田(デジデン)甲子園」に おいて、総合ベスト8に入賞

「冬のDigi田甲子園」とは、内閣官房がデジタルの活用により、地域の個別課題を実際に解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上や、地域の産業振興につながる企業や団体の取り組みを表彰するものです。

全国172件の応募の中からネット投票及び有識者審査が行われ、**審査員評価では「1位」**を獲得しました。



写真：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局提供



# 高山市 地域社会DXプロジェクト

2019年12月： 岐阜県高山市 総務省地域情報化アドバイザー派遣 データ分析の助言

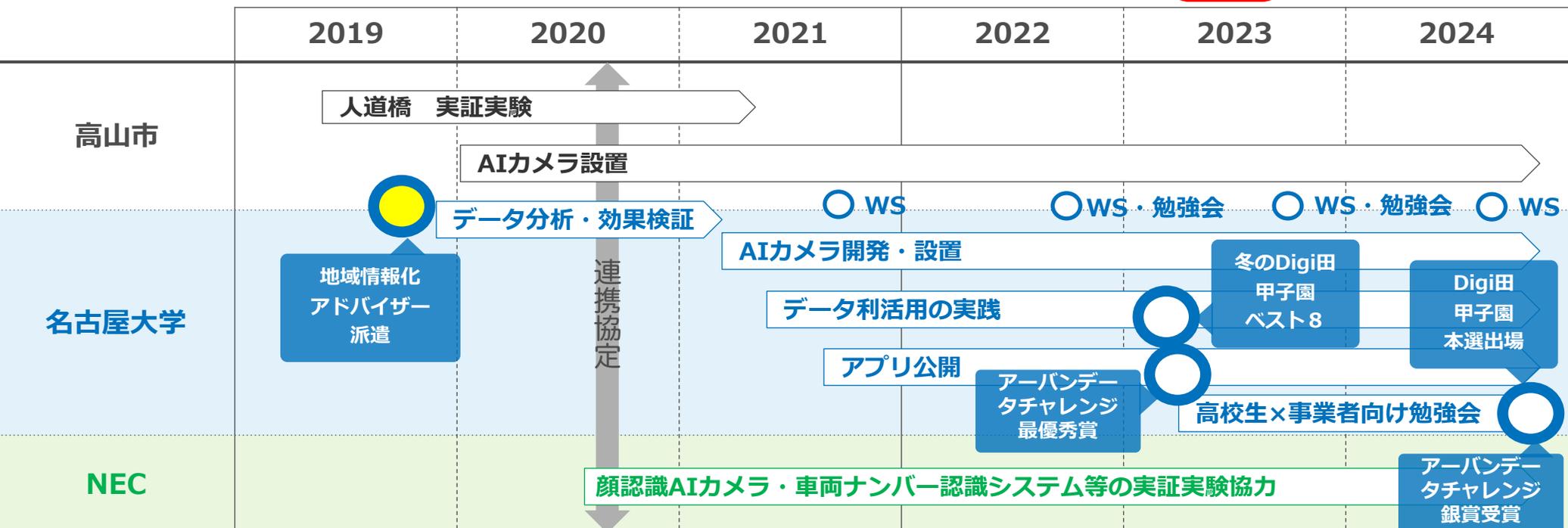
2020年10月： 産学官連携協定（高山市・NECソリューションパートナー・名大）

2023年 3月： 冬のDigi田甲子園 ベスト8（審査員評価1位）

アーバンデータチャレンジ2022 ビジネスプロフェッショナル部門 最優秀賞

2024年12月： Digi田甲子園 本選出場

2025年 3月：アーバンデータチャレンジ2024 一般部門 銀賞 **NEW!**



改めて、このプロジェクトで  
良かったと思うポイント！

# AIカメラで計測したデータを オープンデータとして公開していた点！

- 当初は、市の予算で取ったデータを無償で公開していいのか？という議論もあった
- オープンデータにしていたので、色々なところで活用しやすかった  
(何か新しい活用を進める際に、確認を取る必要がない)
- 他のデータとの連携の話も出るけど、意外と進まない・・・  
(データは誰のもの？目的外利用？等で進まないことが多い)
- データの地産地消でみんなで地域課題解決！という形が作りやすい

人流データを取っていても、オープンデータにしている事例は少ない・・・

どのようにして取り組んできたか？

# 三者連携のきっかけ

2019年



退場

入場



高山市：

人道橋（行神橋）竣工前後での人の流れを計測し、橋の効果を検証したい

NECソリューションイノベータ（NES）：

愛知県岡崎市の人流測定AIカメラの事例を紹介

AIカメラ（FieldAnalyst：FA）を人道橋近くの商店街店舗に設置し、人の流れを計測

名古屋大学 浦田研：

人流データの分析を担当 ⇒ 地域情報化アドバイザー派遣（高山市）

AIカメラを用いた人流測定の実証実験 ⇒ EBPMとしてのデータ分析を開始

# 産学官連携協定の締結

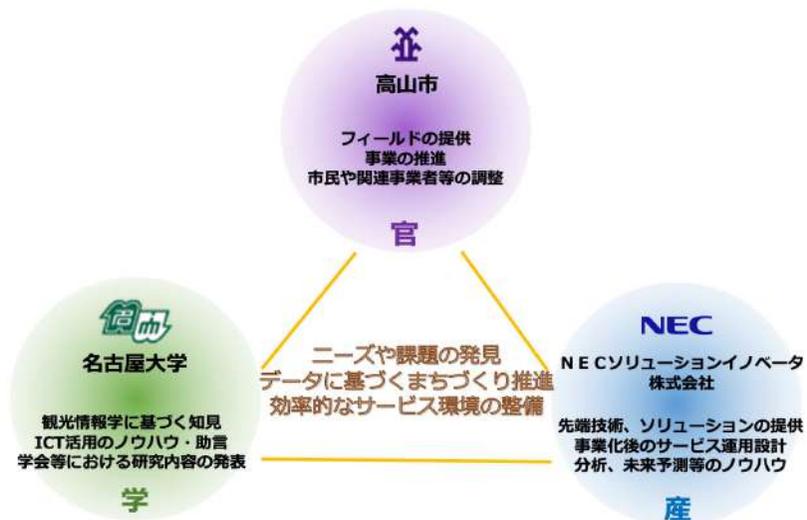
2020年

- 観光ニーズの多様化やコロナショックにより観光形態が激変
- 高齢化により、観光地の負担の少ない運用が必要
- ニーズに対する根拠となる指標が必要



- 『効率的』な観光をICTを使ってサポートしたい！
- 様々な情報をお店や宿泊施設など地域全体で共有して効果的な情報発信や活気あるまちづくりを進めたい！

● 名古屋大学・高山市・NESは、2020年10月に産学官連携協定を締結



2020年：三者連携により観光DXへ向けたAIカメラによるデータ収集を開始

# 高山市 産学官民連携プロジェクトの概要

市や地元事業者との連携により、データ分析に基づく施策検討を行う等、“データの地産地消”を実践！

2020.4～FA（駅前、古い町並）＋ 行神橋、江名子川、⇒ 現在4箇所  
 2021.4～名大まちなかAIカメラ徐々に設置拡充 ⇒ 9箇所

合計13台

## 人流・交通量データの収集

NES AIカメラ(FA)  
人数+方向+年齢性別

名大 AIカメラ  
人数+車両台数+方向



商店街に14台のAIカメラを設置



高山市公式HP

①オープンデータとしての公開



②観光アプリやデータ分析ツールの開発



③データ分析に基づく飲食店の売上向上



④産学官民連携ワークショップの開催

地元でデータ収集 ⇒ 地元の人みんなでデータを使えるように！ ⇒ 地域社会DXへ

# 商店街での通行量データの活用例

2025年6月現在

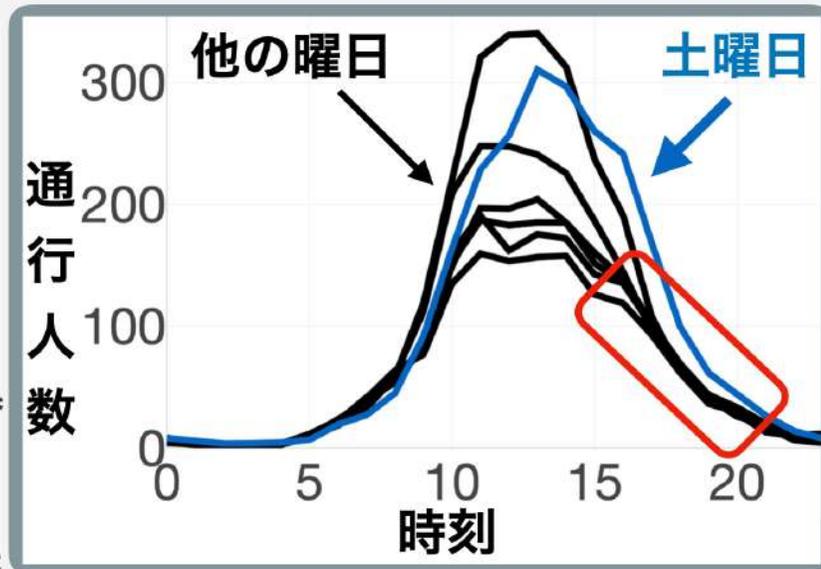
1. 営業時間設定 (飲食店)
2. シフト調整 (文具店)
3. 賑わい調査, 店の効果検証 (市民)
4. バス施策の効果測定 (行政)
5. 路上調査時間設定 (市民)
6. イベントの効果測定 (市民)
7. 補助金申請, 報告書 (市民)

## データ利活用の実証（飲食店）



### 土曜日の 閉店時間を30分延長

- 延長した時間帯に  
平均7%・最大27%の売上増加\*  
\*7/23~12/11の11回の土曜日  
18時半~閉店の売上÷10時~18時半の売上
- 観光客が増加する翌年の夏も延長



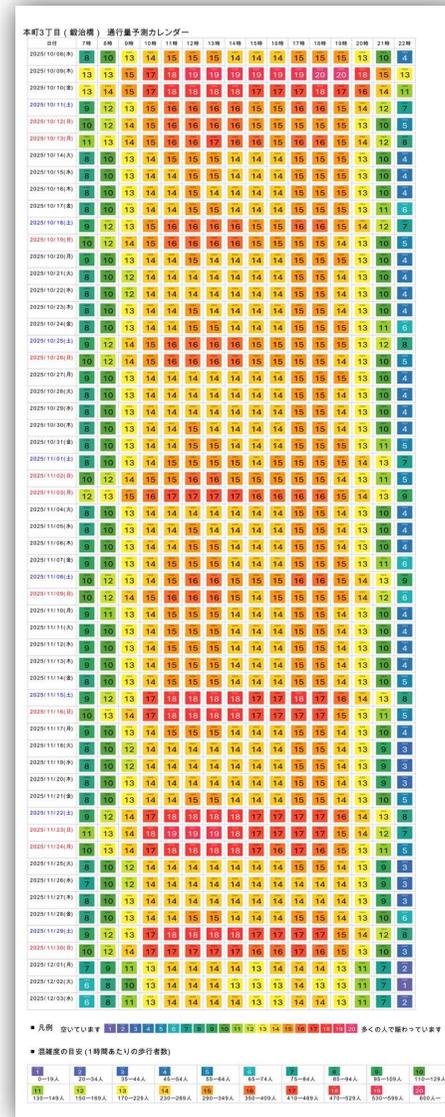
# データ公開の活用事例 (文具店)



シフトを  
調整する土産物  
店店主

印刷された  
分析結果  
のグラフ

通行量オープンデータ (PDF) の活用



AIによる通行量予測の活用

# AIを用いた歩行者数予測

機械学習を用いて、9地点の歩行者数予測を開発

## 使用しているデータ

- 天気
- 連休
- 祭り
- イベント
- 紅葉シーズン など

本町3丁目（鍛冶橋） 通行量予測カレンダー

| 日付            | 7時 | 8時 | 9時 | 10時 | 11時 | 12時 | 13時 | 14時 | 15時 | 16時 | 17時 | 18時 | 19時 | 20時 | 21時 | 22時 |
|---------------|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 2025/10/08(水) | 8  | 10 | 13 | 14  | 15  | 15  | 15  | 14  | 14  | 14  | 15  | 15  | 15  | 13  | 10  | 4   |
| 2025/10/09(木) | 13 | 13 | 15 | 17  | 18  | 19  | 19  | 19  | 19  | 19  | 19  | 20  | 20  | 18  | 15  | 13  |
| 2025/10/10(金) | 13 | 14 | 15 | 17  | 18  | 18  | 18  | 17  | 17  | 17  | 18  | 17  | 16  | 14  | 11  |     |
| 2025/10/11(土) | 9  | 12 | 13 | 15  | 16  | 16  | 16  | 16  | 15  | 15  | 16  | 16  | 15  | 14  | 12  | 7   |
| 2025/10/12(日) | 10 | 12 | 14 | 15  | 16  | 16  | 16  | 16  | 15  | 15  | 15  | 15  | 15  | 13  | 10  | 5   |
| 2025/10/13(月) | 11 | 13 | 14 | 15  | 16  | 16  | 17  | 16  | 16  | 15  | 16  | 16  | 15  | 14  | 12  | 8   |
| 2025/10/14(火) | 8  | 10 | 13 | 14  | 15  | 15  | 15  | 14  | 14  | 14  | 15  | 15  | 15  | 13  | 10  | 4   |
| 2025/10/15(水) | 8  | 10 | 13 | 14  | 14  | 15  | 15  | 14  | 14  | 14  | 15  | 15  | 15  | 13  | 10  | 4   |
| 2025/10/16(木) | 8  | 10 | 13 | 14  | 14  | 15  | 14  | 14  | 14  | 14  | 15  | 15  | 15  | 13  | 10  | 4   |
| 2025/10/17(金) | 8  | 10 | 13 | 14  | 14  | 15  | 15  | 14  | 14  | 14  | 15  | 15  | 15  | 13  | 11  | 6   |
| 2025/10/18(土) |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |

■ 凡例 空いています 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 多くの人で賑わっています

■ 混雑度の目安 (1時間あたりの歩行者数)

|                |                |                |                |                |                |                |                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1<br>0~19人     | 2<br>20~34人    | 3<br>35~44人    | 4<br>45~54人    | 5<br>55~64人    | 6<br>65~74人    | 7<br>75~84人    | 8<br>85~94人    | 9<br>95~109人   | 10<br>110~129人 |
| 11<br>130~149人 | 12<br>150~169人 | 13<br>170~229人 | 14<br>230~289人 | 15<br>290~349人 | 16<br>350~409人 | 17<br>410~469人 | 18<br>470~529人 | 19<br>530~599人 | 20<br>600人~    |

# 目的ベースダッシュボード

- 目的・年月・地点を選ぶだけで最適なデータを表示できるツール
- 事業者の方々の意見を取り入れながら開発



▲ ダッシュボードの画面

## データ公開の活用事例（まちづくり会社）



通行量オープンデータの活用

## AIによる需要予測の検討（飛騨・高山観光コンベンション協会）



AIによる通行量予測の活用

毎年開催

まちづくりワークショップ！

# ICTを活用したまちづくりワークショップ 2021年

## 産学官民連携によるワークショップ！ 第1回ワークショップ

AIカメラによるデータ利活用に関するワークショップを開催することで、商工観光関係者らと共に考え、観光客の満足度向上や効率的な事業運営につなげることが目的。2021年より実施！

### ICTを活用した まちづくりのための ワークショップ

- データから考える高山市のミライ -

高山市・名古屋大学・NECソリューションイノベータ（株）の産学官連携協定に基づき、令和2年度から市内商店街や観光地中心部にAIカメラを設置し、人流や交通量などの分析を行っています。本ワークショップでは、これまで収集してきたデータの分析結果等を地元関係者の皆様に共有し、データをどのように地域で活用していけるのか一緒に考えていきます！

日時

令和3年 11月 22日（月）  
午後 7時～（90分程を想定）

場所

高山市役所  
地下大会議室

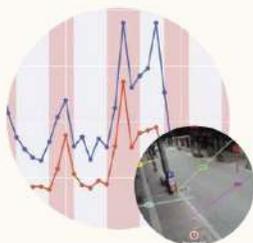
対象

高山市商店街振興組合  
上三之町町並保存会  
その他関係者

内容

AIカメラを用いた交通量データの収集と分析  
まちなかの入込と自店舗入込の簡易比較ツール紹介とお試し利用  
データ活用、改善案のアイデア出し

タブレット  
がある方は  
お持ちください！



【主催】高山市／名古屋大学 安田・遠藤・浦田研究室

【問合せ】高山市 総務部 行政経営課 担当：山田（TEL 0577-35-3040）

# ICTを活用したまちづくりワークショップ 2022年

## 産学官民連携によるワークショップ！ 第2回ワークショップ

ワークショップ前半は学生からの報告，後半については，2021年はグループディスカッション，2022年は，パネルディスカッションを実施。産学官民が一体となって，まちづくりについて議論。



### 第2回 ICTを活用した まちづくりワークショップ ～通行量データを考える～

ICTを活用したまちづくりをみんなで一緒に考えましょう！  
昨年からまちなかの通行量データを収集しています。  
通行量データは観光地において基礎的なデータとなるはずですが、  
たくさんの観光客の満足と負担の少ないまちの運営を目指し、  
通行量データの効果的な活用方法を考えてみませんか？

日時：2022/10/29（土）  
19時より2時間程度

場所：高山市役所 地下大会議室

対象：データ利活用に関心がある方



主催：高山市/名古屋大学 安田・遠藤・浦田研究室  
NECソリューションイノベータ株式会社

問合せ：高山市総務部行政経営課 山田、坂垣内  
(TEL：0577-35-3040)



2022年  
デジタルの日  
JAPAN  
DIGITAL DAY 2022

2022年10月29日（土）19:00～ 市役所地下大会議室

### プロジェクトの進捗報告

- 飛騨高山散策Webマップの開発と検証
- 通行人の属性分析について
- 人流データから見るイベント時の傾向分析
- 梗絲食品でのデータ利活用事例
- 機械学習を用いた通行量予測
- Googleビジネスプロフィール（GBP）の利活用
- AI顔認識システムの分析結果

### パネルディスカッション

- 飛騨高山旅館ホテル協同組合 理事長 村井氏
- 上三之町町並保存会 有巢氏
- 飛騨高山観光コンベンション協会 高原氏
- 本町会商店街振興組合 梗絲食品 営業部長 今川氏
- 高山市観光課長 清水氏

# ICTを活用したまちづくりワークショップ 2023年

## 産学官民連携によるワークショップ！ 第3回ワークショップ

ワークショップ前半は学生からの研究成果の報告，後半については，通行量データの分析を実施。産学官民が一体となり，データ分析の結果を見ながらまちづくりについて議論。

**第3回 ICTを活用した  
まちづくりワークショップ  
～通行量を分析する～**



昨年の様子

今年の参加者の声  
もっと色々な所属の人と議論できるといいな  
来年もぜひ継続開催を！

まちなかの通行量データを2021年から収集しています。  
通行量は観光地における基礎的なデータであり、  
ICTを活用したまちづくりを進める上で必須となってきます。  
こうした通行量の効果的な活用方法を一緒に考えてみませんか？

|  |   |
|--|---|
|  <b>前半   研究発表</b><br>名大生の高山におけるICTを<br>活用した研究成果発表<br>(ご要望の多かった通行量予測も！) |  <b>後半   ワークショップ</b><br>飛騨高山高校の生徒と一緒に<br>人の通行量を分析してみます<br>(ご自身の関心のある地点を分析) |
|--|---|

日時 | 2023/12/1(金)19時より2時間ほど  
場所 | 高山市役所 地下大会議室  
対象 | データ活用に関心のある方など



お申込みは  
電話またはQRコード

主 催 | 高山市/名古屋大学 安田・遠藤・浦田研究室 問合せ | 高山市総務部行政経営課 新築 坂垣内  
NECソリューションイノベータ株式会社 (TEL: 0577-35-3040)

2023年12月1日(金) 19:00～ 市役所地下大会議室

前半：研究成果の発表

通行量予測も！

後半：データ分析の  
ワークショップ

Excelでデータ分析  
をしながら議論



高校生との連携

# ICTを活用したまちづくりワークショップ 2024年

## 産学官民連携によるワークショップ！ 第4回ワークショップ

ワークショップ前半は学生・高校生からの研究成果の報告，後半は，通行量データおよび入店者数データの分析を実施。高校生とともに，分析結果を見ながらまちづくりについて議論。

2024年11月15日（金）18:30～  
高山市図書館

### 前半 研究発表

名大生&山高生が、2024年度に取り組んでいるICT利活用の研究成果を発表します！

### 後半 ワークショップ

飛騨高山高校の生徒と一緒に通行量と入店者数を分析し、入店率を見ましましょう！

参加無料  
要申込

(定員60名)

11/1

(金)

17時まで

## 第4回ICTを活用した まちづくりワークショップ

～通行量&入店者数の分析 with 山高生～

11/15 2024  
金

18:30～20:30  
高山市図書館 煥章館

まちなかの通行量データを2021年から収集しています。  
通行量は観光地における基礎的なデータであり、ICTを活用したまちづくりにとって重要なデータといえます。  
データの効果的な活用方法を考えてみませんか？

データ利活用に  
関心のある方向け！

### 前半 研究発表

名大生&山高生が、2024年度に取り組んでいるICT利活用の研究成果を発表します！

### 後半 ワークショップ

飛騨高山高校の生徒と一緒に通行量と入店者数を分析し、入店率を見ましましょう！

参加申込はお電話またはQRコードから

主催：飛騨高山DX推進官民連携プラットフォーム

高山市

名古屋大学 安田・遠藤・浦田研究室

NECソリューションイノベータ株式会社

協力：岐阜県立飛騨高山高校 / 岐阜大学 社会システム経営学環 地域ラボ・高山  
申込 & 問合せ：高山市総務部行政経営課 新家、坂垣内 TEL: 0577-35-3040



# 高山市におけるデータ地産地消～大学生と高校生による地域DX～

- 2019年の実証実験後、2020年にAIカメラによる通行量データの収集を開始
- 市や地元事業者との連携によってデータ分析に基づく施策検討を行う等、“データの地産地消”を実践！

## 通行量データの収集 (2020年～現在)



商店街に13台のAIカメラを設置

## 通行量データの活用 (2021年～現在)

- ①オープンデータとして公開
- ②観光アプリや分析ツールの開発
- ③産学官民連携ワークショップ
- ④データ分析に基づく飲食店の売上向上



## 2023年～ 飛騨高山高校との連携を開始！

### 飛騨高山高校 大学院生・大学生による データ分析&利活用勉強会

- 高校生が地域課題を知り、大学生からデータサイエンスを学ぶことで、地元の将来を身近に感じる（担い手育成へ）



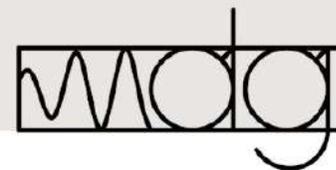
### 研究室主催 市職員・商工観光事業者向け デジタル勉強会&ワークショップ

- デジタルスキルを身に着けた高校生が市職員や地元事業者のデジタル活用をサポート（地域課題解決）



“データ地産地消”による観光まちづくり  
大学生と地元高校生が地域DXを推進！

# 高山市におけるデータ地産地消 ～大学生と高校生による地域DX～



名古屋大学  
安田・遠藤・浦田研究室

<https://youtu.be/TA9SG2xyTdY>

# 大学院生・大学生によるデータ分析&利活用勉強会（飛騨高山高校の授業に導入）

| No. | 年    | 日       | 時限    | 内容                              | 実施場所    |
|-----|------|---------|-------|---------------------------------|---------|
| 1   | 2023 | 9/8     | 4,5,6 | 名大生と始めるデジタル勉強会～データ利活用編～         | 飛騨高山高校  |
| 2   | 2023 | 10/30   | 5,6   | 名大生と始めるデジタル勉強会～第2回データ利活用編～      | 飛騨高山高校  |
| 3   | 2024 | 7/8     | 4,5,6 | 名大生と始めるデジタル勉強会～バス分析練習編～         | 飛騨高山高校  |
| 4   | 2024 | 8/30    | 5,6   | 名大生と始めるGBP（Googleビジネスプロフィール）利活用 | オンライン   |
| 5   | 2024 | 9/13    | 5,6   | 分析を考える会                         | オンライン   |
| 6   | 2024 | 9/20    | 5,6   | 分析を実践する会                        | オンライン   |
| 7   | 2024 | 10/10   | 6     | 高校生と取り組むデータ地産地消① センサー開発体験       | 飛騨高山高校  |
| 8   | 2024 | 10/11   | 5,6   | 高校生と取り組むデータ地産地消② 講義・現地視察        | 高校・まちなか |
| 9   | 2024 | 10/22   | 6     | 高校生と取り組むデータ地産地消③ センサー開発（ボード）    | オンライン   |
| 10  | 2024 | 10/25   | 5,6   | 高校生と取り組むデータ地産地消④ センサー開発（ケース）    | 飛騨高山高校  |
| 11  | 2024 | 11/1    | 5,6   | 高校生と取り組むデータ地産地消⑤ センサー開発（ボード）    | 飛騨高山高校  |
| 12  | 2024 | 11/8,15 | 5,6   | 高校生と取り組むデータ地産地消⑥⑧ センサー設置        | まちなか    |
|     | 2024 | 11/12   | 6     | 高校生と取り組むデータ地産地消⑦ センサー開発（ボード）    | オンライン   |
| 13  | 2024 | 11/14   | 6     | Instagram リールを作成・投稿する会          | 飛騨高山高校  |
| 14  | 2024 | 11/21   | 6     | Instagramのデータの活用方法を考える会①        | 飛騨高山高校  |
| 15  | 2024 | 11/22   | 6     | Instagramのデータの活用方法を考える会②        | 飛騨高山高校  |
| 16  | 2024 | 11/29   | 5,6   | 高校生と取り組むデータ地産地消⑨ データ回収          | まちなか    |
| 17  | 2024 | 12/6    | 5,6   | 高校生と取り組むデータ地産地消⑩ データ確認          | オンライン   |



2023.9.8  
活動内容・通行量データ分析について



2023.10.30  
WSに向けてデータ分析を実践



2024.7.8  
市のバス施策について分析・発表



2024.10.11  
センサー開発の勉強会

通行量データの分析や地域課題解決のためのデジタル活用 ⇒ 高校生がスキルを習得

# 市職員・商工観光事業者向けデジタル勉強会&ワークショップ (研究室主催)

| No. | 年    | 日     | 内容                             | 実施場所    |
|-----|------|-------|--------------------------------|---------|
| 1   | 2023 | 12/1  | 第3回WS まちづくりに向けた通行量データ分析        | 市役所第会議室 |
| 2   | 2024 | 2/16  | 名大生と始めるデジタル勉強会～データ活用編～         | 市役所会議室  |
| 3   | 2024 | 9/6   | Googleビジネスプロフィール利活用勉強会         | 村半      |
| 4   | 2024 | 10/4  | バス施策分析ワークショップ                  | 市役所会議室  |
| 5   | 2024 | 11/1  | Googleビジネスプロフィール利活用勉強会         | 村半      |
| 6   | 2024 | 11/15 | Googleビジネスプロフィール利活用勉強会         | 村半      |
| 7   | 2024 | 11/15 | 第4回WS (データ分析結果の発表&分析サポート)      | 図書館     |
| 8   | 2024 | 12/6  | Googleビジネスプロフィール利活用勉強会         | 村半      |
| 9   | 2024 | 11/29 | 高校生デジタルサロン (データ利活用&Instagram等) | 村半      |
| 10  | 2024 | 12/20 | Googleビジネスプロフィール利活用勉強会         | 村半      |
| 11  | 2025 | 2/14  | 第2回高校生デジタルサロン                  | 飛騨高山高校  |

## 高校生が地元商工観光事業者等のデータ分析&デジタル活用をサポート!!

「市営神明駐車場のバス区画廃止の実証実験」において、バスと人の通行量はどうか変化していたのかを高校生が検証



今までデータとしてしか見ていなかったデータが地域の方々の生活に直接つながる生のデータだと感じられる貴重な体験だった。

非常にスキルが高い。仮説から検証の所作が身についている。今後もこのような機会があることを望みます。



2023.12.1

※高校生は学校閉鎖期間となり欠席



2024.2.16

市職員によるデータ分析をサポート



2024.9.6

観光事業者のデジタル活用を補助



2024.10.4

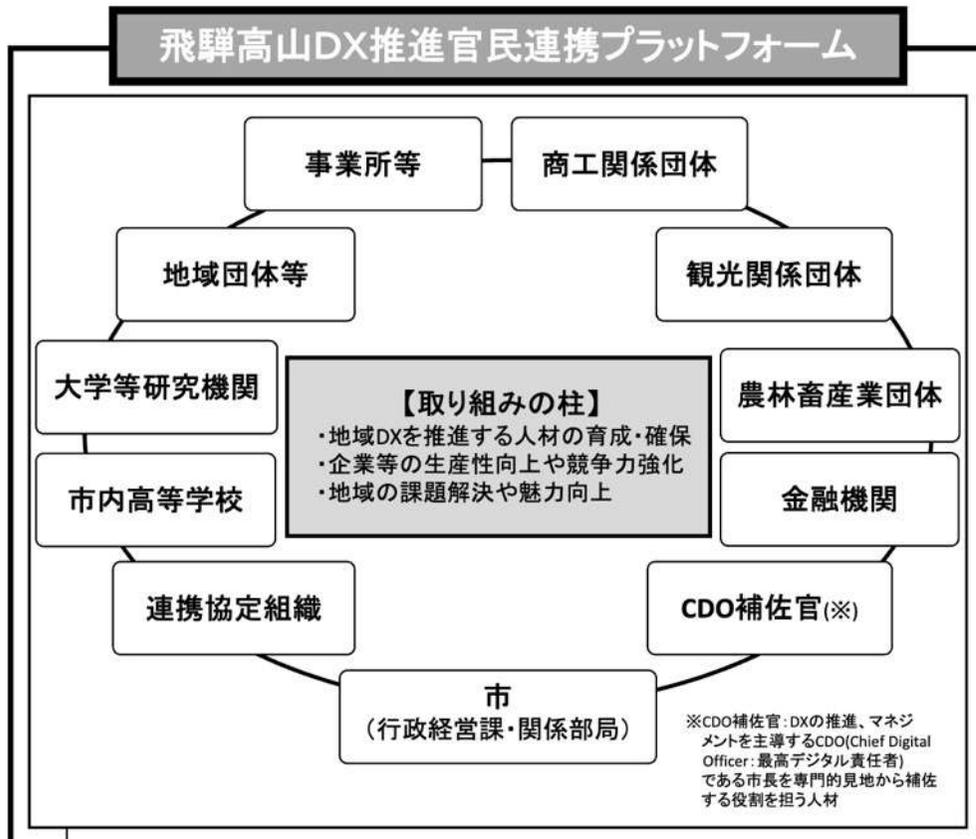
市のバス施策効果検証で分析を担当

デジタルに強い高校生 ⇒ 商工観光事業者のデジタル活用をサポート ⇒ 地域社会DXへ

# 飛騨高山DX推進官民連携プラットフォームの設立

## 令和6年10月 飛騨高山DX推進官民連携プラットフォームを設立

地域のDX推進に関わる多様な主体（DXに関する知識や技術に関わらず様々な主体を想定）同士が活発に意見や情報を交換できる環境を整備することで、地域でのDX推進に向けた取り組みの発展・拡大や新たな取り組みの創出を図る



### 取り組み内容：

- ・ 地域DXを推進する人材の育成・確保（講演会・セミナー等の開催 など）
- ・ 企業等の生産性向上や競争力強化（産学民官保有データの共有・利活用 など）
- ・ 地域の課題解決や魅力向上（地域のデジタルデバイド対策 など）
- ・ 各分科会における個別課題解消に向けた取り組み

# 地元高校生と連携したバス施策分析ワークショップ

## 施策分析ワークショップ！

高山市が6/15-7/15に行った「市営神明駐車場のバス区画廃止の実証実験」の際に、バスと人の通行量はどう変化していたのかという検証を、AIカメラのデータで分析。実証実験を担当した都市計画課のほか、飛騨・高山観光コンベンション協会・商工会議所が参加。各地点の通行量の変化を、飛騨高山高校の高校生が分析&サポートしながら、確認&施策の効果検証を実践。



# 地元事業者向け「高校生デジタルサロン」の設置

高校生にデジタルの相談をしてみませんか？

**高校生  
デジタルサロン**

参加無料  
事前予約

名古屋大学 安田・遠藤・浦田研究室は2023年度から飛騨高山高校と連携し、勉強会を複数回開催することで高校生のデジタルスキルの向上を図ってきました。これまでの勉強会で得たスキルを使って、デジタルに関する質問に高校生がお答えします。時間内に何度でも質問可能です。お気軽にお申し込みください！(要予約)



開催日  
2024.11.29

時間 (各回50分)  
① 13:35~ ( )  
② 14:35~ ( )

こんな方にオススメ

- 通行量データを使って
- Instagramを始めた
- SNSを使ったPR投稿

相談内容の例

データ利活用

- データ分析ってどうやるの？
- ワークショップでの分析をさらに知りたい

主催 飛騨高山DX推進官民連携プラットフォーム (名古屋大学 安田・遠藤・浦田 協力 飛騨高山高校 岐阜大学 社会システム経営学)

高校生にデジタルの相談をしてみませんか？

**高校生  
デジタルサロン**

第4回

名古屋大学 遠藤・浦田研究室は2023年度から飛騨高山高校と連携し、勉強会を複数回開催することで高校生のデジタルスキルの向上を図ってきました。これまでの勉強会で得たスキルを使って、デジタルに関する質問に高校生がお答えします。時間内に何度でも質問可能です。お気軽にお申し込みください！(参加無料・事前予約)

開催日  
2025.10.3 金

時間  
① 13:35~14:25  
② 14:35~15:25 (各回50分)

定員  
12組 1組2名まで

場所  
高山市役所3階 行政委員会室

持ち物  
スマホ・パソコンなど  
相談時に使うデジタル機器 (お持ちでない方は、申込時に申込フォームにご記入ください。)

申込  
2025.9.28 (日)まで  
下のQRコードからお申込ください。

9/28(日)締切です！  
お申込はこちら



過去の相談例

Excelを用いたデータ利活用

- 観光客数データからグラフを作りたい
- 高山市のDX推進度を分析してほしい
- イベントによるまちなかの歩行者数の変化を検証したい

まちなかの歩行者数計測地点

- 駅前東口・上三町通り・行神橋
- 高山八幡宮表参道・まてで能もちょう前
- 本町4丁目商店街・本町3丁目商店街
- 田分寺通り第2商店街・やすがわ通り商店街
- 本町12丁目商店街・陣屋前交差点・中橋

Instagram

- プロアカウントに切り替えたい
- ストーリーズを作りたい
- 効果的なハッシュタグの付け方を教えてほしい
- 自分たちの投稿に対して、高校生の意見を聞きたい

デジタル全般

- スマホやパソコンなどのデジタル機器の使い方を知りたい
- ExcelやWordで表を作りたい
- オンライン会議ツールを使いたい

主催 飛騨高山DX推進官民連携プラットフォーム (名古屋大学 遠藤・浦田研究室/飛騨高山高校/高山市) 協力 岐阜大学 地域ラボ・高山 お問い合わせ nagoya.mdg.info@gmail.com

## 地元高校生によるデジタルサロン (データ利活用、インスタ、デジタル活用の支援)

飛騨高山高校のビジネス情報科の高校3年生が、事業者さんからの、データ利活用やインスタ活用など、デジタルに関する質問にお答えするイベント！





# 2025年6月 斐太高校 探究学習での授業 (高2 238名対象)



# ICTを活用したまちづくりワークショップ 2025年

## 産学官民連携によるワークショップ！ 第5回ワークショップ

WS前半は官民連携プラットフォーム分科会からの成果報告，後半は，歩行者数予測活用ワークショップを実施。AIカメラのデータをもとにした、予測結果を見ながらまちづくりについて議論。

2025年11月17日（月）18:30～  
高山市役所

### 前半 分科会報告

飛騨高山DX推進官民連携プラットフォームの分科会から、今年度の取組成果をご紹介します。

### 後半 ワークショップ

AIカメラのデータをもとに開発した「歩行者数予測」を見ながら、お店や商店街での活用方法を考えます！

参加無料  
要申込  
(定員60名)

11/4 (水)  
17時まで

飛騨高山DX推進  
官民連携プラットフォーム主催イベント！

## 第5回ICTを活用した まちづくりワークショップ

～分科会報告と歩行者数予測～

11/17 2025 月

18:30～20:30  
高山市役所 地下大会議室

歩行者数予測カレンダー

高山市では、まちなかの通行量データを2021年から継続的に収集しています。通行量は観光地を理解するための基礎的な情報であり、ICTを活用したまちづくりに欠かせない重要なデータです。このデータを、地域の未来にどう活かせるか、一緒に考えてみませんか？

**前半 分科会報告**  
飛騨高山DX推進官民連携プラットフォームの分科会から、今年度の取組成果をご紹介します。

**後半 ワークショップ**  
AIカメラのデータをもとに開発した「歩行者数予測」を見ながら、お店や商店街での活用方法を考えます！

参加分科会

- 高校生デジタルサポート分科会
- 「データの地産地消」分科会
- グループ・ビジネス・プロフィール (GBP) 活用促進分科会
- データ駆動型観光推進分科会

参加申込はお電話またはQRコードから

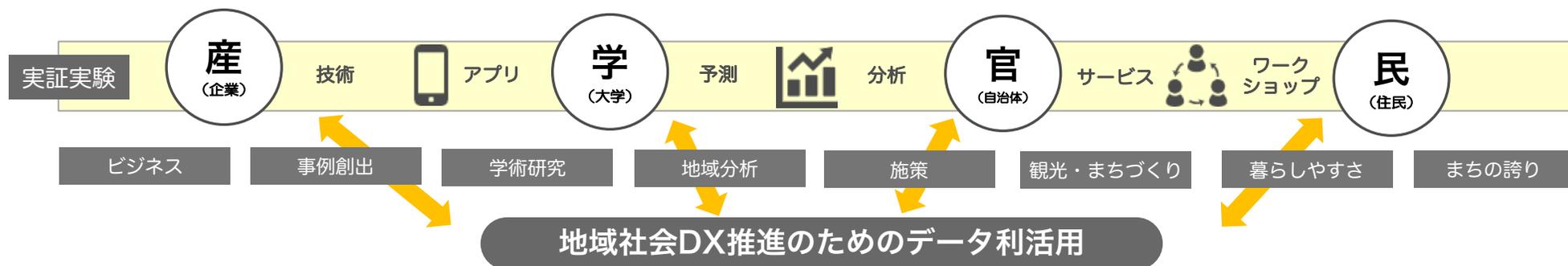
主催：飛騨高山DX推進官民連携プラットフォーム「データの地産地消」分科会  
(高山市、名古屋大学 遠藤・浦田研究室)

協力：岐阜県立飛騨高山高校 / 岐阜大学 社会システム経営学環 地域ラボ・高山  
申込 & 問合せ先：高山市総務部行政経営課 新家、水波 TEL: 0577-35-3040



まとめ

# 産学官民連携プロジェクト



## 地域を良くするために・・・

### ① 産学官民連携：

**住民目線**(利用者視点)にするためには、官民(民間企業)連携に**学**が加わるのが重要！

### ② 研究：**長い目**で見たい！成果を地域に返すためにも

### ③ 研究：**学生たち**が主体的に参加することが大事！様々なテーマを展開できる

### ④ 自治体：フィールド提供だけではダメ ⇒ **一緒に共同研究** & 実証実験

## 【地元高校生との連携】

### 地域目線：

- 高校生の**デジタルスキルを有効活用**
- 若者の**地域参加促進**
- 地域内でのデジタル人材確保・若者の流出抑制

### 高校生目線：

- 学んだことを実践する機会**で意欲向上**
- 事業者・市職員と関わり、新たな学びや刺激 ⇒ 進学・就職に有利